

# 五所川原市成報

発行所 五所川原市役所  
 (代) 電話2111  
 印刷所 青森民友新聞社  
 毎月25日発行

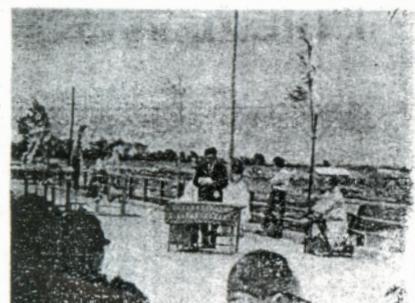
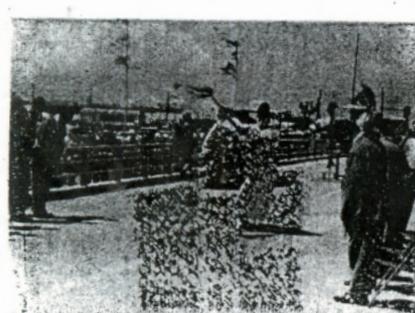
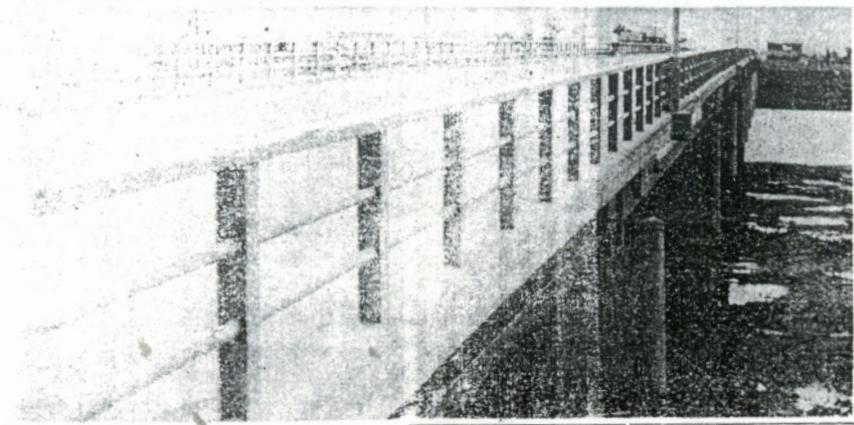
市の人口	
(6月末現在)	
総人口	50,090
男	24,294
女	25,796
世帯数	9,974

## 盛大に竣工式終る

### 三夫婦は菊地・鶴賀両家

西郡と五所川原市、そして北郡を結ぶ夢のかけ橋、待ちに待った新しい乾橋が完成、四日前十時から新乾橋において市内大盛況のうちに竣工式が挙行された。由良原土木部長、西北五選出議員、地元から山内市長、小関相村長、それに関係者二百名が出席して盛大に竣工式がおこなわれた。早朝の台風九号の余波を受けての雨まじりの強風の中、橋上には約五万人の人が見物に押し寄せ、式は正午修式、既初めを飾り西北を結ぶ夢のかけ橋、乾橋が開通しました。

# 乾橋完成の夢をかなへる



乾橋完成したから市長祝詞  
 乾橋完成したから市長祝詞  
 乾橋完成したから市長祝詞

同日は修式にさき昭和三十一年八月十八日、旧乾橋と自動車にはままれて死に、この乾橋架橋のきかけとなつた市内上井町、北沢成君(当時十才)の霊に對し乾橋の母、みづえさんが完成し乾橋から岩木川に花束を投じて、幸福を祈つた。

修式は定期より三十分早く午前十一時半からはじめられ乾橋中央に設けられた祭段で神尾上降神の儀式、玉串奉てん、御神楽(おかぐら)があつた。三和代議員(代)、竹内代議員、黒川事山市長ら各界から送られた多数の祝詞があつて式を終り渡り初めがおこなわれた。

口(寺町)に張られた紅白のテープを横山副知事の手できられ、柏原町より繰り出した盛勢のよい行列をつくり、一般来賓、新町町よんがらんを踊りながら渡つてきた玉の十数羽の鳩が飛び、川子ともみこし、貴賓、工事担当者内会の山内につき市内内境、西正午、盛況のうちに乾橋完成の慶意された五百個の風船が空に舞いあがった。

同時に猿田(天狗)を頭に神延、百米におよぶ五所川原町、西官がつき、平和町、新町、田町お山参拜が登山はやくに合せて口より小曲隊入会が、五所川原市、西北五、二十五万部民待望の新乾橋架橋工事がめでたく竣工したことは、当地方発展のため誠、厚實になさるべきところであり、ご承知のように旧乾橋は昭和五年西北郡を結ぶ唯一の幹線橋として行かれたもので、当時は県内の各區として有名でありました。時代の進展にもない運輸機関の発達と産業の振興によつてさしもの乾橋も陸となり被損壞を被り、近郊にいたつては通行が危険な状態となり、学童の事故死亡なども起つて、これが架橋を要する声が高はつたとし、市民の間で起つたのであります。

けた結果、ついに実を結び、昭和三十四年十月竣工、総額一億九千六百円の出費を要して、全長三、四六六、中興の海運物の輸送の大動脈であり、一等級の橋がここに完成したことは、はかりしれぬものがある。確信に充ちて、ついに乾橋は津軽の心から慶祝しやまぬものであります。

この機会に乾橋架橋の原動力となつた三和代議員、期成同盟会の方々、また幾多の難関を克服されて工事を進められた青森建設監督にあられた関係者の方々に深甚なる敬意と謝意を表し、併せてわれわれ地元民は今後ますます一致努力して産業の開発に、文化の向上につとめ、新乾橋の意義とその機能を十分に発揮し、当地方発展に貢献する所存であります。

伊藤 氏に感謝状  
 祝賀会は五小校で



台 風  
 台風の強さはちがいます。普通は台風中心に近いところは風が強いので、風雨が強いので、台風の中心のわきかなる間、風が弱くなる部分があります。これを台風の目とよんでいます。台風の中心の気圧は九五ミリバール以下、台風の中心がくると、通るような地方では、猛烈な暴風雨に襲われるおそれがあります。台風の進路を正確に予報するのはむずかしいことですから、台風情報によく注意して、被害をなくするようお願いします。

台 風  
 台風の強さはちがいます。普通は台風中心に近いところは風が強いので、風雨が強いので、台風の中心のわきかなる間、風が弱くなる部分があります。これを台風の目とよんでいます。台風の中心の気圧は九五ミリバール以下、台風の中心がくると、通るような地方では、猛烈な暴風雨に襲われるおそれがあります。台風の進路を正確に予報するのはむずかしいことですから、台風情報によく注意して、被害をなくするようお願いします。





